



学校法人 茂来学園
大日向小学校

※佐久穂町イェナプランスクール設立準備財団は、大日向小学校の2019年4月開校に向けて、学校法人設立と小学校設置の認可を申請中です。

.....
学校案内
.....



建学の精神

誰もが、豊かに、 そして幸せに生きることのできる 世界をつくる。

私たちの考える「誰もが、豊かに、そして幸せに生きることのできる世界」とは、すべての人が「個」として大切にされ、それぞれの違いを認め合い、互いに協働することを通して世界平和に貢献する、自由と責任のある共同体です。

この目的を達成するために、私たちは学校を設立し、学校そのものが理想の共同体になることを目指します。

なぜなら、そうした環境で学んだ子どもたちこそが、豊かで幸せに生きることができる世界をつくと、私たちは信じているからです。

オルタナティブ教育の1つとして知られているイエナプラン教育が大切にしてきたことには、「児童が自分の特性を活かしながら学ぶこと」「自分自身の学びに責任を持つこと」「年齢も考え方も違う集団の中で協働しお互いに助け合いながら成長すること」「集団の中の誰もが自分らしく生活できるように責任をもって意思決定に参加すること」「自分自身の関心から生まれる問いに基づき自発的に学ぶこと」、そして「身近な自然や地域の人々との関わりといった実社会と地続きの学習環境の中で学ぶこと」などが挙げられます。

私たちの学校は、こうしたイエナプラン教育の経験に学びつつ、日本の教育ならではの豊かさを活かすことで、新たな価値を提供できると考えています。

限られた一部の人のためだけに特殊な教育を行う学校ではなく、学習指導要領に基づいた教育を行う一条校である小学校の新たな在り方を示すことも、私たちが目指すことの1つです。佐久穂町に日本で初めてイエナプラン教育に基づく小学校を設立することは、公教育の選択肢を増やすという意義を持つと考えています。

一般財団法人佐久穂町イエナプランスクール設立準備財団





ごあいさつ



設立者・理事
中正 雄一

株式会社グローバルグループ
代表取締役

次世代の子どもたちのために。

子どもたちの未来を預かることは未来の社会をつくっていくことに他ならないという考えから、次の世代の子どもたちの教育の場をつくりたいという想いで、小学校の設立を目指し始めました。

「子どもたちの未来のために」という理念のもと、100園以上の保育園を設立してきた中で、どのような教育の場をつくるのがこれからの日本の未来をより良くすることに繋がるのかを考えていたところ、ひとりひとりを大切に、自立した市民を育てるイェナプラン教育と出会いました。自然が多く地域との繋がりをつくりながらできる環境にある佐久穂町で、日本初のイェナプランスクールの設立を目指します。



代表理事 **中川 綾**

一般社団法人
日本イェナプラン教育協会理事/
株式会社アソビ代表取締役

私たちが 自立した市民でいるために。

この度、日本初のイェナプランスクールを設立する準備に関わることをご縁をいただいたことを心から嬉しく思っております。

振り返れば、私がイェナプラン教育とリヒテルズ直子さんに出会ってからのこの13年間は、イェナプラン教育に触れ、学び、実践しようと試みる方々と共に歩んできた月日でした。イェナプラン教育を学ばば学ぶほど、「私たちが自立した市民でいるために、学校はどのような場でなければならぬのか」ということを、イェナプラン教育に関わる方々が常に考え続

け、体現しようと挑戦し続けてきたのだと、深く気づかされました。この挑戦は、ドイツやオランダだからできることではなく、日本でも実現できると考えており、イェナプラン教育のコンセプトを日本の学校でも必ず体現し広めたい、という想いで関わらせていただいています。

これらを実現する場として、地域の方々に大変愛されてきた自然豊かな佐久穂町の小学校校舎と出会えたことは、まるで奇跡のようです。これまでイェナプラン教育に携わってきたすべての方々と、これからイェナプラン教育に出会い関わろうとするみなさまに、心から喜んでいただける学校にしていきたいと思っておりますので、引き続きお力添えいただければ幸いです。



理事 **桑原 昌之**

大日向小学校 スクールディレクター

試行錯誤とチャレンジの 向かう先にあるもの。

「個を尊重する」ことから始まるイェナプランスクールを佐久穂町に設立するというプロジェクトに参加できることを、ありがたく思っています。

長く公立小学校の教諭や指導主事として公教育に携わってまいりましたが、まさに毎日が試行錯誤の連続で、教育の正解は1つではないことを様々な場面で感じてきました。

これからの世界の担い手となる子どもたちにとってより良い学校、より良い

教育とは何かを追究し続ける中でイェナプラン教育と出会い、「誰もが、豊かに、そして幸せに生きることのできる世界をつくる」ことは、これまでの試行錯誤やチャレンジの向かう先に必ず実現できると確信しています。

大日向小学校ができる予定の場所からは美しい姿の茂来山を望むことができ、木々の色の移ろいに季節の移り変わりを感じながら日々を過ごすことができます。そして、地域のみなさまが、かつて通った学校がどのような学校になるのかに興味を持って日々声をかけてくださることが、何よりの励みになっています。地域のみなさまに愛され、共に歩む学校を目指して、準備を進めてまいります。



理事 **長尾 彰**

株式会社ナガオ考務店代表取締役

学校を起点にした社会をつくる。

少子高齢化・地域経済の縮小・グローバル化の台頭など、私たちを取り巻く社会課題は日ごとに深刻さを増しています。こうした課題を「解決・解消」するのは誰でしょうか？ 政治家？ 役人？ 企業人？ それとも、私たち自身でしょうか？

これらの課題に対して取りうる有効な手段は、自ら学び社会の大きな変化を生み出す「主体的で能動的に学び、他者と協働的に関わることができる自立した個人」を増やすことです。

社会の中で学校に求められる機能も大きく変わりつつあります。「社会環境の変化に応じて要請される学校をつくること」から、「学校を起点にした社会をつくること」への変化も求められています。このように、大きな時代の大きな変化の狭間にある今、私たちがすべきことは、次世代を担う子どもたちと共に学ぶことです。「誰もが、豊かに、そして幸せに生きることのできる世界をつくる」ことは、未だ人類が成し遂げられていないことです。多くの人々との協働を通して、この挑戦を楽しみたいと思います。



特別顧問 **リヒテルズ 直子**

教育・社会研究者／著述家/
一般社団法人
日本イェナプラン教育協会特別顧問

子どもたちと共に生きる学校を。

私たちは皆、自分が持っていない良さを持ち、自分とは異なる見方をする他の人を必要としています。それは、まだ自分が知らないことに気づき、自然や社会についてより深く知り、関わるようになるためです。私たちはひとりで生きることはできないし、他の人と協力することでひとりではできない大きく大切な事業に取り組んでいくことができます。

イェナプランスクールは、子どもたちに、共に生きることを学ばせ、子どもたちと共に生きる学校です。

学校を開き、地域の人々と共に、社会や周りの自然に対して責任を持って関わり、今よりもずっと素晴らしい理想の社会を目指して、信頼関係の上に協力して、クリエイティブに、また希望を捨てることなく生きることを学ぶ学校です。日本で初めてのイェナプランスクールが佐久穂町という素晴らしい環境にでき、日本の学校に新しい息吹をもたらすことができる日が近づいているのをとても楽しみに思っています。



大日向小学校が大切にすること

大日向小学校が大切にすること3つが実現したとき、自ら「誰もが、豊かに、そして幸せに生きることのできる世界」をつくろうとする意志と行動力を持つことができると私たちは信じ、日々子どもたちと共に学んでいきます。

1 自立する

個々の発達や個性に合わせた学びを大切に、「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら、学びに対する当事者意識を育みます。子どもたちは、それぞれの発達に合った自然な流れの中で、自身の学びに責任を持ち、自ら考え、より良い行動を選択するように成長していきます。



2 共に生きる

異年齢での活動を重視し、子どもたちは、私たち人間は多様な存在であること、そして多様な人たちが共に生きるにはどうしたら良いのか（他者との協働）を毎日の学校生活の中で学びます。

また、地域社会の多様な大人との関わりを持ち、伝統と文化に触れ、挑戦していくことの大切さを実感するとともに、佐久穂町の自然を最大限に活かし、生命の有限性や自然の大切さを知り、自然や地球との共存についても学びます。



3 世界に目を向ける

「対話・遊び・仕事(学習)・催し」といった、日々の暮らしの中で行われている営みを学校の中にも自然な形で取り入れて、理想の共同体を学校の中につくることを目指します。

子どもたちは、現実にある本物に触れることを通して、私たちは社会の一員であるということを実感し、世界で起きていることに責任を持って関わるようになります。



私たちが大切にすること「関係性」

自分自身との関係

- 2.1 子どもたちは自分の長所と短所を自覚し、自分の特性を活かしながら努力する。
- 2.2 子どもたちは自分の成長と発達を元に評価される。
- 2.3 子どもたちは何を学びたいか、何を学ばなければならないか、いつ説明が必要か、どのように学習を計画しなければならないかについて、自分自身で責任を持つことを学ぶ。
- 2.4 子どもたちは自分の発達に対してリフレクション（振り返って見直すこと）を学ぶ。またそれについて他の人と話し合うことを学ぶ。

他者との関係

- 2.1 子どもたちは、異年齢グループの中で発達する。
- 2.2 子どもたちは、協働、助け合い、それらについてお互いの行動を振り返ることを学ぶ。
- 2.3 子どもたちは、ファミリー（根幹）グループや学校における調和の取れた共同生活について、誰もが自分らしく、また、豊かな生活を体験できるように、自ら責任を持ち、共に意思決定に参加することを学ぶ。

世界との関係

- 3.1 子どもたちは、自分たちが成すことは、生きた真正な（本物で現実の）状況の中に対するものであることを理解し、その中で学んでいくことを学ぶ。
- 3.2 子どもたちは、自分の周囲の環境を大切に、責任を持ってかかわることを学ぶ。
- 3.3 子どもたちは、世界について識るために、ワールドオリエンテーションの中で、学校が教材として提供している学びの内容を適用する。
- 3.4 子どもたちは、リズムカルに組まれた日課に沿って、遊びながら、仕事をしながら、対話しながら、また、共に催しに参加しながら学ぶ。
- 3.5 子どもたちは、自分自身の関心や問いから自発的に行動することを学ぶ。



イエナプラン教育のコンセプト

イエナプラン教育のコンセプトは、人間について・社会について・学校について記された「20の原則」として語られています。

(K・ボットとK・フロイデンヒル 1992年/リヒテルズ直子日本語訳)

人間について

01 どんな人も、**世界にたった一人しかいない人**です。つまり、どの子どももどの大人も一人一人がほかの人や物によっては取り換えることのできない、**かけがえのない価値**を持っています。

03 どの人も自分らしく成長するためには、次のようなものと、**その人だけにしかない特別な関係**を持っています。つまり、ほかの人々との関係、自然や文化について実際に感じたり触れたりすることのできるものとの関係、また、感じたり触れたりすることはできないけれども現実であると認めるものとの関係です。

04 どの人も、いつも、その人だけに**独特のひとまとまりの人格を持った人間**として受け入れられ、できる限りそれに応じて待遇され、話しかけられなければなりません。

02 どの人も**自分らしく成長していく権利**を持っています。自分らしく成長する、というのは、次のようなことを前提にしています。つまり、**誰からも影響を受けずに独立していること、自分自身で自分の頭を使ってものごとについて判断する気持ちを持てること、創造的な態度、人と人との関係について正しいものを求めようとする姿勢**です。自分らしく成長して行く権利は、人種や国籍、性別、(同性愛であるとか異性愛であるなどの) その人が持っている性的な傾向、生まれついた社会的な背景、宗教や信条、または、何らかの障害を持っているかどうかなどによって絶対に左右されるものであってはなりません。

05 どの人も**文化の担い手**として、また、**文化の改革者**として受け入れられ、できる限りそれに応じて待遇され、話しかけられなければなりません。



社会について

06 私たちはみな、それぞれの人がもっている、**かけがえのない価値を尊重しあう社会**を作っていないとではなりません。

09 私たちはみな、**地球と世界とを大事にし、また、注意深く守っていく社会**を作っていないとではなりません。

07 私たちはみな、それぞれの人の**固有の性質(アイデンティティ)**を伸ばすための**場や、そのための刺激が与えられるような社会**をつくっていないとではなりません。

08 私たちはみな、**公正と平和と建設性**を高めるという立場から、人と人との間の**違いやそれぞれの人が成長したり変化したりしていくこと**を、受け入れる社会をつくっていないとではなりません。

10 私たちはみな、**自然の恵みや文化の恵み**を、未来に生きる人たちのために、**責任を持って使うような社会**を作っていないとではなりません。

学校について

12 学びの場(学校)で働く大人たちは、1から10までの原則を**子どもたちの学びの出発点**として仕事をします。

11 学びの場(学校)とは、そこに**かかわっている人たちすべてにとって、独立した、しかも共同して作る組織**です。学びの場(学校)は、社会からの影響も受けませんが、それと同時に、社会に対しても影響を与えるものです。

13 学びの場(学校)で教えられる教育の内容は、子どもたちが実際に生きている**暮らしの世界と、(知識や感情を通じて得られる)経験の世界**とから、そしてまた、(人々)と(社会)の発展にとって大切な手段であると考えられる、私たちの社会が持っている**大切な文化の恵み**の中から引き出されます。

14 学びの場(学校)では、教育活動は、**教育学的によく考えられた道具**を用いて、**教育学的によく考えられた環境**を用意したうえで行います。

15 学びの場(学校)では、教育活動は、**対話・遊び・仕事(学習)・催し**という4つの基本的な活動が、交互に**リズムカル**にあられるという形で行います。



16 学びの場(学校)では、子どもたちが**お互いに学びあったり助け合ったりすることができるよう**に、年齢や発達の程度の違いのある子どもたちを慎重に検討して組み合わせたグループを作ります。

17 学びの場(学校)では、**子どもが一人でやる遊びや学習と、グループリーダー(担任教員)が指示したり指導したりする学習**とが**お互いに補いあうように交互**に行われます。グループリーダー(担任教員)が指示したり指導したりする学習は、特に、レベルの向上を目的としています。一人でやる学習でも、グループリーダー(担任教員)から指示や指導を受けて行う学習でも、何よりも、**子ども自身の学びへの意欲が重要な役割**を果たします。

18 学びの場(学校)では、学習の基本である、**経験すること、発見すること、探究すること**などとともに、**ワールドオリエンテーション**という活動が中心的な位置を占めます。

19 学びの場(学校)では、子どもの行動や成績について**評価**をする時には、できるだけ、**それぞれの子どもの成長の過程がどうであるか**という観点から、また、それぞれの**子ども自身と話し合い**をするという形で行われます。



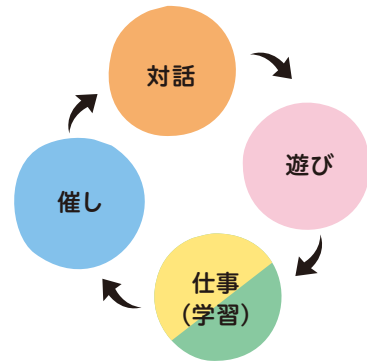
20 学びの場(学校)では、何かを変えたりよりよいものにしたりする、というのは、常日頃からいつでも続けて行わなければならないことです。そのためには、**実際にやってみる**ということと、それについて**よく考えてみる**ことを、いつも**交互に繰り返す**という態度を持っていないとではなりません。



子どもたちの1日

～4つの学びのサイクル～

人々の自然な学習形態である4つの基本活動「対話・遊び・仕事(学習)・催し」をリズムカルに循環させる時間割で学びます。子どもたちは週の初めに立てた計画に沿って学習を進めます。



異年齢での学習活動

大日向小学校の活動の多くは、実際の社会が異年齢で構成されているのと同様に、学年をまたいだ異年齢の子どもたちとグループリーダー(教師)で構成される活動グループで行われます。こうして立場の違いを経験することで、「人はみんな違う」ということを当たり前と捉えられるようになります。

下学年 ある金曜日の1日

	8:30	8:45	9:30	10:15	10:45	11:30	12:15	12:45	13:15	14:00	14:45
1年生	サークル(対話)	国語	算数	おやつ・外遊び	音楽	図画工作	ランチ	外遊び	生活	特別活動(催し)	サークル(対話)
2年生		国語	算数		音楽	図画工作			生活		
3年生		国語	算数		音楽	図画工作			理科		
		ブロックアワー			ブロックアワー			ワールドオリエンテーション			

上学年 ある月曜日の1日

	8:30	8:45	9:30	10:15	10:45	11:30	12:15	12:45	13:15	14:00	14:45
4年生	サークル(対話)	国語	算数	おやつ・外遊び	国語	体育	ランチ	外遊び	理科	社会	サークル(対話)
5年生		国語	算数		英語	体育			理科	社会	
6年生		国語	算数		英語	体育			理科	社会	
		ブロックアワー			ブロックアワー			ワールドオリエンテーション			

イエナプラン教育の特徴的な活動

サークル対話

対話することは私たちが共に生きていくための土台となります。大日向小学校の1日は、サークル対話で始まり、週末にあったことやクラスの中の出来事など、お互いに顔が見えるようにサークル(輪)になって話します。1日の終わりのサークルになって、その日を振り返ります。

ブロックアワー

(自立学習・基礎学習)

グループリーダー(教師)が、1週間を基本単位として、各教科の基礎的・基本的な学習や、ワールドオリエンテーションに必要な内容についての課題を設定します。子どもたちは、グループリーダー(教師)から示された「しなければならない課題」と「自分自身が選択した内容」について、どのように学ぶかを計画し、それぞれに合った方法で自立的に学習します。

ワールドオリエンテーション

(協働学習・総合学習)

ワールドオリエンテーションは「イエナプランのハート」と呼ばれ、日々の学習の中心的な活動です。学校全体で取り組むテーマに沿って、教科横断的に学習を進めます。実際に世界で起こっていること(身近なことから地球規模のことまで)について、教科学習で学んだことを活用し、グループのメンバーと協力しながら総合的に学びます。また、ワールドオリエンテーションの中で生まれた問いを深めるために、ブロックアワーでも必要な知識を得ていくという循環によって、「意味」のある学びとなります。

催しと行事

大日向小学校では、1年や1週間といった区切りの始まりと終わり、季節ごとのお祭りや誕生日や記念日など、様々な機会に学んだことや、嬉しいこと、悲しいことを共に分かち合う「催し」を行います。また、地域の方々と共に行うスポーツフェスティバルや、地域の行事への参加なども積極的に行っていく予定です。

学びの環境 校内



居心地の良い生活空間としての教室

大日向小学校の教室は、子どもたちにとって安心して居心地の良い「リビングルーム」として設計されています。同時に、子どもたち自身の責任において、自分たちで作り上げる空間でもあります。



教室完成イメージ

学びが生まれる環境

子どもたちとグループリーダー（教師）がいつでもサークル（輪）になって話すことのできる場所や、子どもたちがグループで作業することのできる場所、ひとりで静かに学ぶ場所などがあり、自然に「動き」が生まれるように設計されています。

また、教室に限らず、子どもたちの好奇心を刺激したり興味関心をふくらませたりするための仕掛けが、廊下やエントランスや校庭など、学校のいたるところにあります。

これらはすべて、子どもたちが自発的に学びたいという意欲を持つようになるための、専門的に考え抜かれた環境です。



エントランス完成イメージ

地域社会に開かれたオープンな空間のある学校

正面のエントランスには暖炉のあるスペースが設えられ、地域社会に開かれた窓口の役割を果たします。また、ランチルームも保護者や地域の方々が訪ねることのできるスペースにすることで、新たな交流が生まれます。学校がオープンな場になると、子どもたちが地域社会に出ていく機会も増え、本物から学ぶチャンスが広がります。また、学校に地域の方々がいらして下さることで、保護者と教職員だけでなく、地域全体で子どもたちを見守ることができます。



教室・廊下完成イメージ

開放感のある教室・廊下



体育館



音楽室

校内
スナップ



廊下にはベンチスペースもあります。



給食は教室ではなく
ランチルームにて全員でいただきます。



佐久穂町産のカラマツ材が、
校舎のいたるところに施されています。



佐久穂町のこと。



佐久穂町は長野県東部にある人口11,000人の、住民の温かい人柄と支え合いのコミュニティが息づく「お互いの顔が見える」町です。その将来像として「自律した多様なコミュニティが人々の暮らしを支え、挑戦や行動を支援するまち」と掲げられています。

西は北八ヶ岳や八千穂高原、東は茂来山や古谷溪谷を擁し、町の中心を千曲川が流れる自然豊かな立地です。豊富な水と高い晴天率、冷涼で寒暖差のある気候を活かし、野菜や果実・花の栽培に取り組む若手農業者の活躍が注目を集めています。

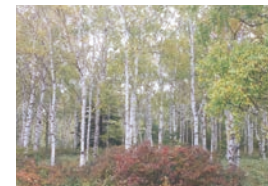
地盤が強固で大地震や自然災害が少ないのも特徴で、2018年には中部横断自動車道のインターチェンジが開通するなど、安心と利便性の高い暮らしができる町です。

大日向小学校の周りも、川や森林といった自然環境に恵まれ、また水田や畑、果樹園もあります。

これらすべてが学びの環境となり、地域の人たちと交流しながら、「本物から学ぶ」ことができます。

佐久穂町のスポット

MAP
of SAKUHO Town



白樺群(八千穂)



茂来山



乙女の滝



大日向小学校の周辺には畑や水田があり、時には地域の人たちと交流しながら農作業を手伝うなど、本物の体験ができる環境に囲まれています。



佐久穂町では、ブルーベリーなどの果実や、アルストロメリアやカーネーションなどの花の栽培が盛んです。



抜井(ぬくい)川は、大日向小学校から徒歩で遊びに行ける距離にあり、地域の方々にも愛されています。

「交通アクセス」について
詳細はP.18へ



佐久穂町の人たち。

佐久穂町では、ありがたいことに、「学校が再びできるなんて奇跡だ!」「子どもたちの声がかた聞こえてくるのが楽しみ」「校舎に電気が点いていると嬉しい気持ちになる」「家で育てた野菜を学校に持って行くからね」など本当に優しくあたたかいお声がけをたくさんいただいております。私たちも、学校設立に向けて大変心強く思っております。とある地域の方から、「移住をして来てく

れる人が増えるのはとても嬉しいけれど、佐久穂の文化を守ることができるだろうか」と投げかけられました。率直なお気持ちだったと思います。私たちが「それはわかりません。だからこそ、対話を繰り返しながら、共に文化を継承し、新たに積み重ねていけるようにしたい」とお話をさせていただくと、その方は「そうだな!」とニコリと笑みを浮かべてくださいました。



佐久穂町役場のみなさん

総合政策課政策推進係
小池良さん・水嶋千春さん

佐久穂町に興味を持った方々や、移住を検討している方々のために対応してまいります。空き家バンクの管理や移住ツアーの企画運営などをされていますので、安心して役場までお問い合わせください。いつでも笑顔で迎え入れてまいります。

佐久穂町への移住の具体的な相談にのってくれる力強いサポーター。



地域おこし協力隊のみなさん

佐久穂町の移住交流促進や地域活性化のために活動している方々です。2018年度中に全員で4名となる予定です。佐久穂町への移住も経験されていらっしゃるの、色々相談にのってくださると思います。(左から副島さん、炭谷さん、常田さん)

お問い合わせ先 佐久穂町役場 総合政策課 政策推進係
TEL:0267-86-2553 FAX:0267-86-4935 mail: seisaku@town.sakuho.nagano.jp

アンテナさくほのみなさん

「アンテナさくほ」の力武さん(右)と佐塚さん(左)は、人と人を繋げていくことで地域の財産(豊かな自然や素敵な人々など)を広く伝える仕事をなされています。さくほジバ共和国の事務局も担当されています。



さくほジバ共和国のみなさん

さくほジバ共和国は、佐久穂町の達人たちと里山体験ができるプログラムなどを提供しています。佐久穂町のことを愛していることが笑顔と行動で伝わってくる方々です!
<http://jeebaa-republic.jp/>

通学パターンとアクセス

2018年に中部横断自動車道・佐久穂I.C.が開通し、佐久穂町と高速道路が直結。東京から車で3時間ほどでアクセスが可能となりました。

また、北陸新幹線「佐久平」駅からは、JR小海線や車で30分ほどの距離。

さまざまなライフスタイルに対応できる、好立地となっています。

通学パターン

① 佐久平駅からスクールバス

佐久平駅から学校までのスクールバスを準備いたします。バスのコースは、実際に通われる方がどこにお住まいかを考慮して最終決定する予定です。

② JR小海線海瀬駅からスクールバス

JR小海線で海瀬駅まで列車を利用し、そこからスクールバスを使うという方法もあります。

③ 徒歩や保護者の送り迎え

学校の近隣からは、徒歩または保護者の送迎で通学が可能です。

アクセス

鉄道とお車で

●東京方面より



●大阪・名古屋方面より



●新潟方面より



●金沢方面より

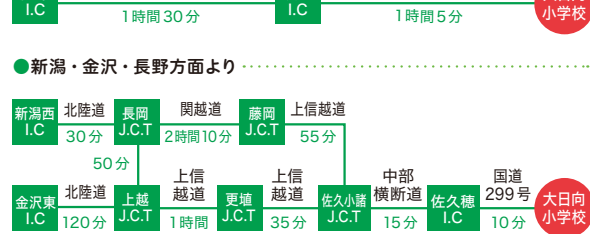


お車で

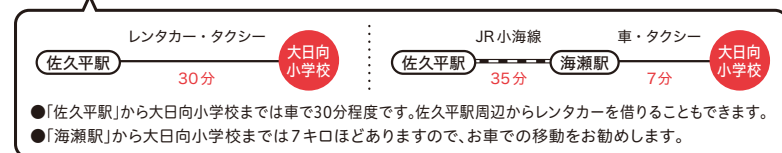
●東京方面より



●新潟・金沢・長野方面より



●名古屋方面より



※所要時間は平均的な時間で換算しています。また、季節・交通事情によって異なります。

佐久穂町に移住しました。



佐久穂町イエナプランスクール設立準備財団 事務局
ドーナツカフェ・ミッコ店主
塚原 諒

2017年の秋に、佐久穂町イエナプランスクール設立準備財団の事務局スタッフとして、佐久穂町内の空き家をお借りして住み始めました。出身は群馬県で、大学進学の際に上京、その後、北は宮城から南は鹿児島まで、多くの地域に移り住みながら暮らしてきました。そんな経験もあってか、様々な人と一緒にみんなが集まれる場をつくるのが得意です。

現在の住まいには、もともと個人商店を営まれていた店舗部分があり、せっかくなので人が集まれる場所をつくろうと移住後すぐに決意。ドーナツとコーヒーをお出しする小さなカフェを開きました。

カフェの開業は初めてで不安も多くありましたが、地元のみなさまにあれこれと相談させてもらい、建物の改装からドーナツの材料やドリンクのメニューにおいても佐久穂町の方々にご協力をいただいています。そのおかげで、移住してから半年という短い期間でオープンすることができました。初めて過ごす冬は確かにものすごく寒かったのですが、店づくりのプロセスを通じて佐久穂町のみなさまの懐の深さを感じ、気持ちは暖かく過ごすことができました。

新しく始めたカフェは、佐久穂町に住まわれているみなさまと、これから佐久穂町や周辺地域に新たに住み始めようとするみなさまとが、ゆるやかに繋がることのできる場所にしていきます。佐久穂町にお越しの際はぜひ気軽にご来店ください。みなさまとお話できることを楽しみにしております。

Doughnuts Cafe Mikko (ドーナツカフェ・ミッコ)
長野県南佐久郡佐久穂町海瀬 57-1
9:30-17:00 (月・火定休)
<http://www.welcometomikko.com>



移住に関する窓口
info@sjsef.jp (担当：塚原)

よくある質問

【教育内容や学校生活】

- Q** 海外（オランダ）の教育を、日本の学校で実践することは本当に可能ですか？
- A** 私たちは、オランダの学校で行われている教育を、そのまま日本で実践するという考え方はいたしません。また、イェナプラン教育は手法ではなくコンセプトであり、日本の学習指導要領で目指されていること、イェナプラン教育のコンセプトには強い親和性があると考えています。特に、新学習指導要領については、よりその傾向は強くなったと感じており、イェナプラン教育に基づいた日本の小学校としてのカリキュラムを作成しています。
- Q** どんな人が先生として働く予定ですか？
- A** 開校から共に先生として働く予定の人は、現在公立の小学校で教員として働いている人、または過去に働いていた方がほとんどです。その中には、オランダで3ヶ月間のイェナプラン教育専門教員養成研修を受けてきた人も数名います。また、公立学校で前向きに実践を積み重ねてきた人も多く、イェナプラン教育のコンセプトに共感し、体現したいと考えている人ばかりです。
- Q** 異年齢グループで活動する際の、1グループの児童数と先生の人数は？
- A** 3学年にまたがる1グループ最大30名のグループをファミリーグループと呼びます。1つのグループのグループリーダー（教師）は1名ですが、他の教師がサポートに入ることもあります。また、2学年ずつや全学年での活動も活発に行います。
- Q** 給食はありますか？ 自校給食ですか？
- A** 給食は自校給食です。ランチルームでみんなで給食を食べる予定です。バイキングスタイルで、自分が食べられる量を自分で選択できるようにするのが良いのではないかと考えています。

【放課後】

- Q** 学童保育はありますか？
- A** 学童保育については、現在、佐久穂町が運営している学童保育に、佐久穂町在住のイェナプランスクールのお子さまも通うことができるようにご検討いただいています。
- Q** 放課後に子どもたちが地元の子どもたちと関わることのできる場所はありますか？
- A** 佐久穂町には、2018年度から「さくほっこ」という子どもセンターが開設されています。児童館としてだけでなく0歳から18歳の子どもたちが過ごせる場所です。また、総合型地域スポーツクラブの開設を考えています。開設時期は未定ですが、大日向小学校の体育館やグラウンドを活用して、子どもたちが色々なスポーツを経験することができるようにしたいと考えています。

【募集、体験プログラムなど】

- Q** 定員は何人ですか？ また募集は全学年ですか？
- A** 定員は1学年30名です。2019年度は、新1年生から新4年生までを定員数募集し、新5・6年生も若干名募集する予定です。
- Q** 入学希望者が定員を上回った場合、入学者の選考はどのように行われますか？
- A** 定員よりも多くの方々にご希望いただいた場合は、抽選とさせていただきます。また、あくまでも「審査」としてではなく、保護者のみなさまとイェナプラン教育のコンセプトについての共有やご理解についての対話をする時間を事前に取りたいと考えています。
- Q** 入学を検討する際に、サマースクールのような体験プログラムはありますか？
- A** 現在は季節ごとに1日プログラムを実施しております。佐久穂町の四季を感じてもらいたいと思っておりますので、ぜひご参加ください。条件が整えば、数日間の連続プログラムも実施したいと考えています。
- Q** 募集はいつから始まりますか？
- A** 学校設立の認可後に募集を開始いたします。詳しいスケジュールは、決まり次第、公式サイトなどでお知らせいたします。

【その他】

- Q** 小学校以外に、幼稚園や保育園、中学校、高校を設立する予定はありますか？
- A** 小学校開校の3年後に中学校を開校できるよう計画しています。幼稚園については、佐久穂町には保育園、私立幼稚園、森のようちえんがありますので、現在のところ開園は考えておりません。高校については、イェナプランスクールで自らの学びに責任を持つことができるようになれば、子どもたちが自分自身の道を選択することができるようになっていくと考えており、今のところは開校を考えていません。中学生になったときに、高校に進学するのか、するとしたら何のために進学するのか、そのために何を必要とするのか、子どもたちが自ら考えることができるようになっていくと確信しています。もちろん、そのためにサポートが必要な場合は、保護者のみなさまと教職員でサポートしていくことになると考えています。



説明会・見学会・体験プログラム

佐久穂町イエナプランスクール設立準備財団では、設立予定の小学校について都内近郊で説明させていただく「ちいさな説明会」、実際に校舎を見学していただく「ちいさな見学会」、佐久穂町の四季を感じながらイエナプランの1日プログラムを体験していただく「季節のがっこう」を実施しています。

詳細は財団ホームページにてご確認ください。 >>> <http://sjsef.jp/>



ちいさな説明会



ちいさな見学会



季節のがっこう

これまでの経緯

2017年

- 2月 佐久穂町住民説明会にて設立理念等を説明
- 6月 佐久穂町議会が校舎譲渡を満場一致で可決
- 8月 「季節のがっこう」スタート
- 9月 学校設立準備新聞創刊(大日向地区全戸配布)
- 10月 「学校を起点としたまちづくりについて考える会」開催
- 12月 「学校の名称を決める会」開催

開校までのスケジュール

2018年

- 6月 長野県に学校法人設立と学校設置の認可申請
- 10月 長野県私立学校審議会にて審議開始(予定)
- 12月 学校法人設立・小学校設置認可(予定)

2019年

- 4月 学校法人茂来学園大日向小学校開校(予定)

※開校までのスケジュールはあくまでも予定です。

願書の受付は学校設立の認可後となります。

2019年4月に入学・転入を希望される方を対象に、個別相談を実施いたします。個別相談は面接試験ではありません。ご家庭と私たちとで対話を通じてお互いに知り合い、この学校に入学することがおさまにとってより良い選択になるかどうかや、イエナプランスクールについて話し合う機会にもなりますので、ぜひご参加ください。

Book List

イエナプラン教育を学ぶことのできる本をご紹介します。



共に生きることを学ぶ (Kindle版)
 1. (入門編) イエナプラン教育ってなに?
 2. (基礎編) イエナプラン教育をやってみよう!
 3. (応用編) イエナプラン教育とともに歩む
 フレーク フェルトハウス・ヒュバート ウィンタース著/
 リヒテルズ直子 翻訳/ほんの木 (2017/8/15)



オランダの個別教育はなぜ成功したのかーイエナプラン教育に学ぶー
 リヒテルズ直子著/平凡社 (2006/9/1)



公教育をイチから考えよう
 リヒテルズ直子・苫野一徳著/日本評論社 (2016/8/12)



オランダの共生教育ー学校が〈公共心〉を育てるー
 リヒテルズ直子著/平凡社 (2010/10/2)



オランダの教育
 リヒテルズ直子著/平凡社 (2004/9/1)



教育の力
 苫野一徳著/講談社 (2014/3/19)



<http://sjsef.jp/>

発行／一般財団法人佐久穂町イエナプランスクール設立準備財団
〒155-0033 東京都世田谷区代田 6-12-33 Sビル1階

お問い合わせ先
info@sjsef.jp

または当財団のお問合せフォームからお願いいたします

